

平成29年度下半期

財政状況のあらまし

最終予算額 666億5,694万1千円

市では、皆さんから納めていただいた市税をはじめ、地方譲与税や国・都からの補助金および交付金、また、市債などの財源がどのように使われているか、市民の皆さんにその内容をお知らせするとともに、市政運営に一層のご理解とご協力をいただくため、毎年2回(上半期、下半期)定期的に財政状況を公表しています。

今回は、平成29年度下半期(平成29年10月1日～30年3月31日)の財政状況についてお知らせします。

☎財政課財政係 (☎042-387-9802)

未来をひらく 小金井を めざして

平成29年度予算については、持続可能な自律した行政基盤の確立を図っていくため、「第4次基本構想・後期基本計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「未来をひらく小金井市改革」を推進し、次世代から「選ばれるまち」、市民力が結集された「選ばれるまち」をめざし、市民満足度の一層の向上に取り組みできま

しかしながら、国内景気の回復基調や徴税強化の取り組みから市税収入が増となった一方で、地方消費税交付金な

どの税連動交付金は制度改正の影響もあり減収となり、依然として厳しい財政運営となりました。

今後においても財政規律を緩めることなく、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、より一層行財政改革を推進していきます。

なお、平成29年度の最終予算額は、一般会計、特別会計を合わせて666億5,694万1千円となり、前年同期と比べて、0.1%の減となりました。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、学校施設の改善や改修、道路の整備、緑地・公園用地の取得、集会施設などの

建設や改修、教育や福祉、ごみ処理など市が行う事業の大部分を賄う会計です。

この会計の平成29年度下半期の予算現額は、42億9,891万2千円であり、前年同期と比較すると0.5%の増となりました。その執行状況は、歳入では、収入率94.9%、歳出では、執行率82.7%です。

下半期の主な建設事業としては、公民館貫井南分館外構工事、第四小学校プール循環ろ過設備改修工事、前原町丸山台集会所トイレ改修工事などを行いました。

特別会計

市には、特定の事業を行うため、一般会計とは別に、国

民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計があります。

これらの特別会計の予算現額を前年同期と比較すると、国民健康保険が4.0%、下水道事業が1.1%の減となった一方、介護保険が2.6%、後期高齢者医療が1.9%それぞれ増加しました。

市債

公共施設の建設などを積極的に進めていくうえで必要な財源として、国や都、金融機関などから長期にわたって借り受ける財源を市債とい

ます。市債の現債高は、22億3,028万8千円となっています。

これを目的別に見ると32.6%を臨時財政対策債が占め、次いで31.6%が駅周辺や公園等の整備の都市計画事業債、9.9%が市民交流センター取得の文化センター等事業債、5.9%が下水道の建設等の下水道債、4.4%が小中学校等義務教育施設の建設の義務教育事業債、3.7%が減税補てん債、3.6%が道路等の整備の一般土木債となっています。市民一人当たりで見ると、19万2,644円の借金があることになり、これを前年同期と比較すると、9.2%の減となります。

市有財産

市が保有している財産に

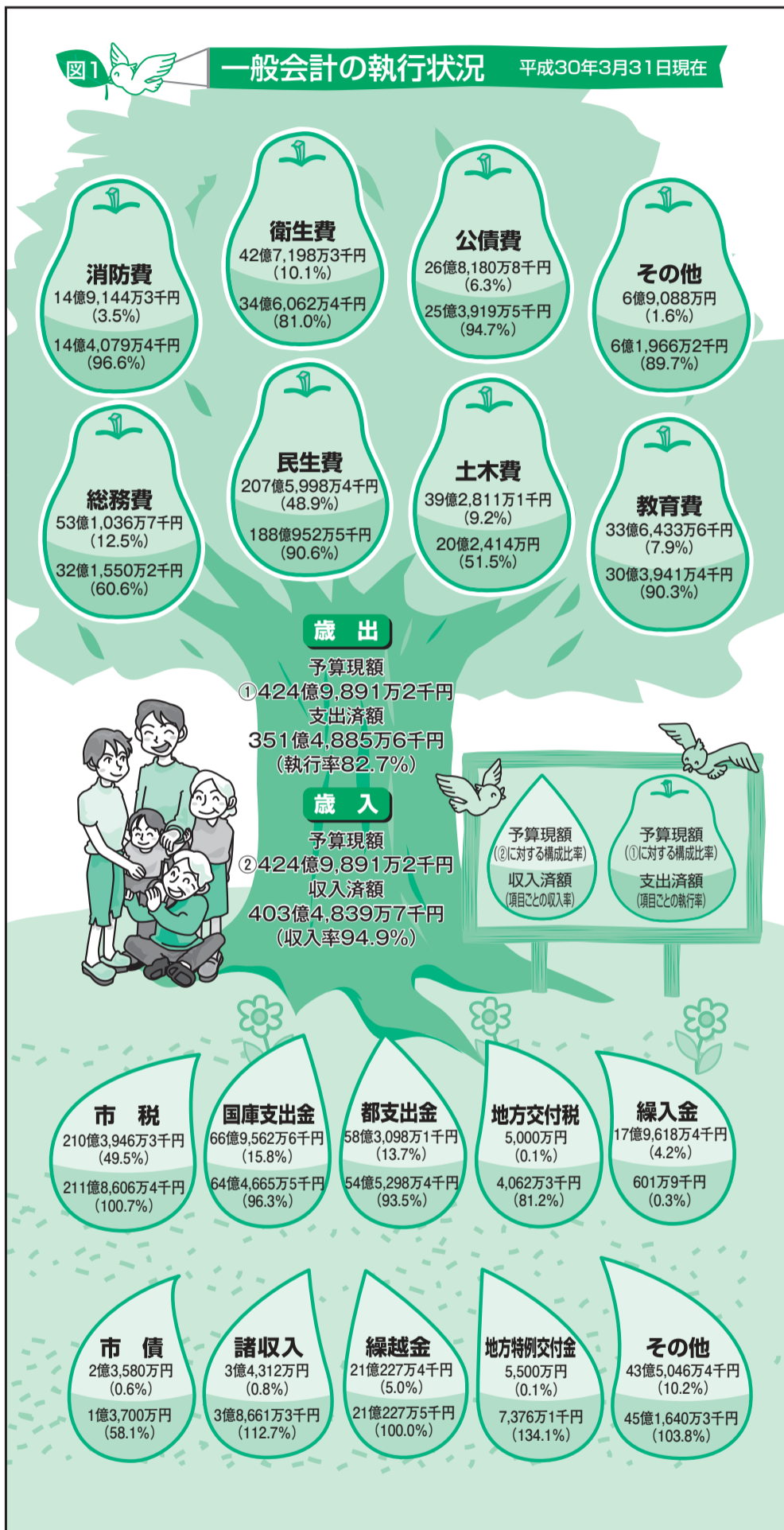
は、庁舎や学校などの土地、建物、そのほか、物品や基金など多くの財産があります。

市有財産の現在高は、87億2,876千円となり、前年同期と比較すると0.7%の増となりました。

一時借入金

一時借入金は、歳出予算で定められた経費を支出するとき、不足する現金を補てんするため、短期的に借り入れる現金をいい、出納閉鎖日(5月31日)までに返済しなければならぬことになっていま

す。平成29年度下半期は、一時借入金はありません。



特別会計の執行状況 (平成30年3月31日現在)

区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	123億6,419万7千円	113億4,852万4千円	91.8%	105億7,548万7千円	85.5%
下水道事業	14億1,895万1千円	13億3,183万5千円	93.9%	10億8,403万7千円	76.4%
介護保険	78億5,526万4千円	76億1,668万7千円	97.0%	69億8,887万3千円	89.0%
後期高齢者医療	25億1,961万7千円	24億7,085万6千円	98.1%	24億8,635万8千円	98.7%